

仕様書

広報部

1. 件名

NEDO の広報活動に係る調査

2. 目的

エネルギーや産業を取り巻く社会情勢が変化する中、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（以下、NEDO）が担う事業領域は拡大しており、NEDO への期待は一層高まっている。そのような中、NEDO は広報活動を通じてそのミッションや各技術分野における取組の意義・内容・成果等を、各ステークホルダーに対してわかりやすく伝えていく必要がある。

そこで、本業務では、NEDO の広報活動に関する調査・分析を行うとともに、広報効果を最大化するための広報施策とその目標設定の検討・実証を行う。

3. 内容

本業務では、以下の項目を実施する。なお、実施に当たっては、NEDO との密接な連携の下で行うものとする。具体的には、調査の実施状況について調査内容に応じた頻度で NEDO と共有し、調査の方向性について確認を行うとともに、追加で実施すべき事項が発生した際には、本調査の目的に基づき、NEDO の指示を踏まえて対処する。

(1) 広報効果最大化のための広報施策の検討

NEDO の広報効果を最大化するため、NEDO の広報活動に関する調査・分析を行う。調査・分析に当たっては、ニュースリリース、イベント、NEDO ホームページ（以下、NEDO HP）、動画、SNS での情報発信等、現状の NEDO の広報活動を俯瞰したうえで、NEDO のプレゼンス向上のための中長期的施策・短期的施策について検討し、適切な目標設定(KGI、KPI) の検討も行う。

本項目については、月 1 回を目安に NEDO 広報部とディスカッションを行う。また、必要に応じて、NEDO 及び委託先以外の外部専門家より施策の方向性について意見を聞く機会を設ける。

(2) 広報活動の効果測定及び分析

適切な広報施策を講じているかを検証するために、定期的に効果測定及び分析を行う。加えて、測定、分析した結果をもとに課題の抽出および解決策を検討する。

具体的には、下述の通り、効果測定及び分析を行う。

① NEDO のプレゼンスに関する定点観測

上記（１）の検討結果を踏まえた NEDO のプレゼンスに関する WEB アンケート調査を年 1 回以上行う。

② メディア露出状況の把握・分析

NEDO に関連するメディア等への露出状況について情報収集・効果分析および課題分析を行う。情報の収集、分析にあたっては、下記項目を含めることとし、露出状況を以下（a）に記載の頻度で速やかに収集し、NEDO に報告する。NEDO への報告については、迅速かつ適切に定期報告する方法を提案し、NEDO の了承を得た上で、業務を行う。

また、これとは別に、NEDO が特定テーマの報道状況についての調査を指示した場合には速やかに情報収集と報告を行う。

(a)NEDO 関連の報道等の露出状況の情報収集

<頻度：発生した都度>

- ・テレビ：NHK、民放キー局、準キー局、基幹局、ローカル局等

<頻度：週次>

- ・新聞：全国紙、東京地方紙、産業経済紙、業界専門紙、全国紙地方版、地方紙、英字紙
- ・雑誌：経済雑誌、週刊誌等
- ・ニュースサイト等の WEB メディア
- ・SNS 等のソーシャルメディア
- ・その他 NEDO から指定するもの

また、テレビに関しては録画データを、新聞・雑誌に関しては電子データでの露出状況の報告および収集記事を NEDO に送付する。

(b)露出状況の定量分析

(a)で収集した情報をもとに、テレビ、新聞、雑誌、WEB メディア等での露出効果を、広告換算額等の同一の基準によって定量的に測定・分析し、定期的に NEDO に報告すること。報告頻度は月 1 回以上とする。なお、定量的な測定の分析手法については、論理性、合理性、有効性などの観点からより妥当な新たな方法があれば、その提案も行うこと。

(c) 露出状況の定性的分析

(a)、(b) の分析を踏まえ、NEDO のメディア露出における課題と改善策を提案するこ

と。報告頻度は四半期に1回以上とする。

③ SNS の効果分析等

NEDO が運用する SNS (YouTube、Facebook、Twitter) に関する効果分析と改善等の施策を実施する。

(a) 各 SNS の効果分析

各 SNS および投稿へのアクセス数、流入経路、ユーザー属性等の効果分析を行う。

(b) 改善施策等の実施

改善施策として、YouTube、Facebook、Twitter での情報発信効果を最大化するための広告配信を行う。加えて、NEDO が運用すべき SNS についての検討を行う。

営業日1日1回、各 SNS の監視を行い、NEDO アカウントに関連して対応が必要な状況が生じている場合は速やかに NEDO へ連絡する。また、SNS 特有のリスクを踏まえた運用についても調査・検討を行う。

④ NEDO HP における情報発信

NEDO HP について、NEDO が提供するアクセス解析、流入解析、回遊解析等のデータに加え、世の中の動向、SEO 対策等の調査結果を参考に、効果的な情報発信方法等の改善提案を行う。

また、アクセシビリティや情報保護といったウェブサイトユーザに配慮した環境を構築するために必要となる事項についても情報収集及び改善提案を行う。

⑤ その他

上記以外 (パンフレットやイベント等) について、必要に応じて広報効果分析・改善提案を行う。

(3) コンテンツの制作と効果検証

広報効果を最大化するための施策として以下のとおりコンテンツを制作する。制作の期間は、2023 年度、2024 年度とする。

① 動画の制作

現在 NEDO が制作している NEDO の職員が出演し、自らが担当するプロジェクトを解説する「職員による NEDO プロジェクト紹介動画」を年間 6 本程度制作する。

また、制作した動画の広告配信用にショート版動画の制作も行う。

② イラスト作成

NEDO の取組を視覚的にわかりやすく伝えるために、パンフレット、HP に掲載可能なイラストを 40 点程度制作する。

③ その他

必要に応じて、上記以外の広報効果を最大化するためのコンテンツ制作を行う。

4. 調査期間

NEDO が指定する日から 2025 年 3 月 31 日まで

5. 報告書

2022 年度、2023 年度終了時には、中間報告書を、2024 年度終了時には調査報告書を所定の期日までに提出。

記載内容：「成果報告書・中間年報の電子ファイル提出の手引き」に従って、作成の上、提出のこと。<https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual.html>

6. 報告会等の開催

委託期間中又は委託期間終了後に、成果報告会における報告を依頼することがある。